

近赤外線画像を
より簡単に、
しかも高精細に。
各種分析に
威力を発揮します。



赤外線イメージスキャナ IR-6500 の特長

- 近年注目される近赤外線波長域での高精細2次元画像を簡単に得ることができます。
- 赤外線イメージスキャナによる応用例：
 - 1) 目に見えない赤外線インクを印刷した有価証券の検査、品質管理。
 - 2) 考古学研究における木簡の見えにくい文字の判別。
 - 3) 柿渋で判読できない伊勢型紙の印章判別。
 - 4) 手のひら静脈の可視化。
 - 5) 神社仏閣仏壇の古い位牌文字の判別。
 - 6) 汚れの激しい古い印画紙写真やガラス乾板写真の復元。
- 高画質：11 μ m (2400dpi) 65536階調の再現性の高い安定した画像。
- 濃度測定：『iMeasure Scan』との組み合わせで、65536階調のA3版マイクロデンシトメーター（濃度計）としても使用可能です。

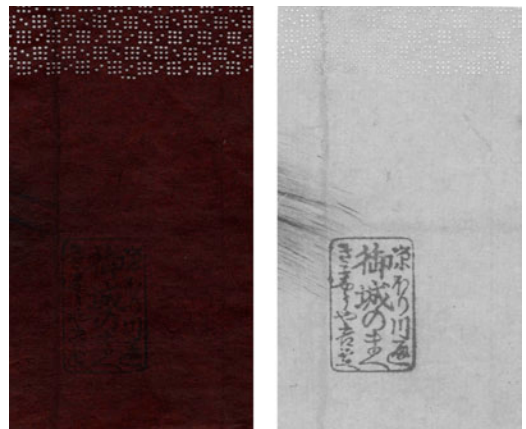
モデル名

反射モード	201803A1
反射／透過モード	201803A2

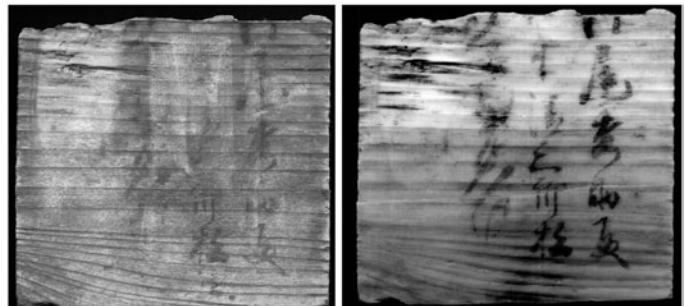
IR-6500 基本仕様

光源	LED アレー（発光中心波長 λ =850nm）
センサ	CCD ラインセンサ
取り込み寸法	A3 ノビサイズ 310x437mm（透過 309x420mm）
光学解像度	2400dpi
読み取り階調	各色 16bit 入力 / 16bit 出力
インターフェース	Hi-Speed USB
本体外形寸法	W656 x D458 x H158mm（透過：H190mm）
重量	15kg（透過：20kg）
消費電力	45W（透過：55W）

赤外線イメージスキャナによる応用例



伊勢型紙の商印判別（左：通常スキャナ 右：赤外線イメージスキャナ）
資料提供 常葉学園短期大学 名誉教授 稲葉昌代様



木簡を直接赤外線スキャンし、肉眼では不鮮明な筆文字を浮かび上がらせた例。
資料提供 関西文化財調査会 吉川義彦様

開発・製造元

アイメジャー株式会社

390-0876 長野県松本市開智2-3-33
phone 0263-50-8651 facsimile 0263-50-8652
info@imeasure.co.jp
www.imeasure.co.jp 最新情報はウェブサイト